

当救命救急センターに搬送された薬物中毒患者の疫学調査

2016年1月1日から2021年12月31日までに急性薬物中毒のために救命救急センターで治療を受けた患者さまとご家族さま

研究協力のお願い

当科では「当救命救急センターに搬送された薬物中毒患者の疫学調査」という研究を行います。この研究は、2016年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターにて、急性薬物中毒のために入院治療を受けた患者さまの患者背景、治療内容、予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当救命救急センターに搬送された急性薬物中毒患者に関する疫学調査

研究予定期間：倫理委員会承認日～2023年4月30日

調査対象期間：2016年1月1日～2021年12月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 田中 知恵

(2) 研究の意義、目的について

急性薬物中毒は救急診療における主要な疾患の一つです。原因となる薬物は年々変化しているうえ、どのようなことが患者背景や原因薬物が重症化に関連するかということに関してはあまり研究されていません。そのため、当救命救急センターで急性薬物中毒で入院治療を受けた患者さまのデータを解析することで、現時点での急性薬物中毒の患者背景や原因薬物などを疫学的に調査し、治療内容、予後を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2016年1月1日より2021年12月31日までに日本医科大学多摩永山病院 救命救急センターにて急性薬物中毒のために入院治療を受けた患者さまのカルテの情報を収集、解析し、どのような患者が何が原因で中毒になり、どのような治療をおこない退院または転院していったかを薬の錠数や種類に着目しながら検討を行います。

この研究は、患者さまの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、入院時の意識レベル、血圧値、血液ガス結果、血液検査結果、治療内容、入院日数、退院または転院、原因薬剤の種類、量、内服時間など

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：救命救急科 田中 知恵

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chiken_center@nms.ac.jp